

基幹テキスト・シリーズ 2025 年度版

◇臨床疑問をひも解く作業療法 LIBRARY

1 号 「ようこそ地域作業療法へ—中核の担い手になるために」

(3 月発行号)

編集 岩切良太 (日南市立中部病院)

昨今の地域作業療法では、病院での作業療法をはじめ、小児、高齢者、成人、精神、学校、行政、司法、企業など、さまざまに実践が行われている。地域を指向する作業療法士はその対象者の入り口出口を考える必要性があり、在宅でその人らしい生活を送るためにも、その役割は大きい。「地域の担い手」となる作業療法士のために、地域作業療法の基礎から実践と、これから必要になる視点を盛り込んだ内容とする。

2 号 「一步深める!! がん患者の作業療法」(6 月発行号)

編集 池知良昭 (静京都立大学)・石橋 裕 (東京都立大学)・田尻寿子 (静岡がんセンター)

臨床においては、今回は特にがんの転移や再発などを経験され、治療がより複雑になっている方々や、緩和ケアを主体とした時期に直面する「死」や「喪失」への理解を深めるため、グリーフケア、スピリチュアルケア、死生学の要素を含めた。また、実際に研究に携わっている作業療法士には、研究に関して理解を深めるための基礎的な知識だけでなく、ご自身で行っておられる具体的な研究についても述べていただく。

3 号 「明日からの訪問作業療法 **玄人帖**」(9 月発行号)

編集 宇田 薫 (おもと会) 寺本 千秋 (紀州リハビリケア訪問看護ステーション)

病院や施設の作業療法と訪問作業療法では、目標や目的が同じであってもアプローチ方法や重点とする課題や支援における注意点などが異なることある。その異なることこそが訪問作業療法のやりがいのひとつでもあるが、自身の作業療法が正しいのかどうかという不安を抱えながらの実践も少なくない。そこで、訪問作業療法の揺るぎない視点・考え方・方向性を示し、養成教育・現場実践・研究において、訪問作業療法を自信と誇りをもって実践できるよう導く内容とした。

4 号 「多様な人の可能性を彩る作業療法」(12 月発行号)

編集 早岩切良太 (日南市立中部病院)・元廣 惇 (株式会社 Canvas)

多くの作業療法士は優秀な先輩作業療法士の評価を目の当たりにして、「なぜ、そんなことがわかるの?」と感心したことがあるだろう。情報の関連性を瞬時に紐解き、その内容に基づき治療計画を立案する。若手とベテランの大差のひとつは評価能力であり、情報に解釈を加えるプロセスの速度および精度にある。精神科における良質な情報収集と情報解釈の方法だけではなく、限られた情報から信頼性の高い推論を導き出す方法も解説する。

【既刊 発行概要】『臨床作業療法 NOVA』 17～21 巻

【21 巻】(2024 年) シリーズ案内 (保存版バックナンバー ※電子版あり)

1. 認知症者と家族支援のための作業療法技術 ◆谷川良博・菅沼一平
 2. はじめてのがん患者の作業療法 ◆田尻寿子
 3. 今日からの訪問作業療法作業療法 **手習い帖** ◆宇田 薫・寺本千秋
 4. 精神科作業療法と臨床推論 ◆早坂友成
-

【20 巻】(2023 年) シリーズ案内 (保存版バックナンバー ※電子版あり)

1. 認知症の人の生活と作業療法 ◆谷川良博
 2. 脳卒中を生きる勇者たちと作業療法 ◆澤 俊二
 3. 難治性精神疾患と作業療法 ◆早坂友成
 4. MTDLP に基づく作業療法参加型臨床実習実践方法) ◆小林幸治
-

【19 巻】(2022 年) シリーズ案内 (保存版バックナンバー ※電子版あり)

1. 記憶障害と作業療法 **エッセンシャル・ガイド** ◆鈴木孝治
 2. 摂食嚥下障害の作業療法 **評価ガイド** ◆神作一実・塚田 徹
 3. 作業療法と臨床判断 ◆仲齋藤佑樹・丸山 祥・藤本一博
 4. 作業療法のエビデンス (EB0) ◆竹林 崇
-

【18 巻】(2021 年) シリーズ案内 (保存版バックナンバー ※電子版あり)

1. 「当事者」と作業療法 ◆田島明子
 2. 摂食嚥下障害の作業療法—基本と臨床へのアプローチ ◆百田貴洋
 3. 学校作業療法 **実践ガイド** ◆仲間知穂・友利幸之介
 4. 認知症の作業療法 **観察ガイド** ◆谷川良博
-

【17 巻】(2020 年) シリーズ案内 (保存版バックナンバー ※電子版あり)

1. 作業療法マネジメント ◆太田睦美・土井勝幸
 2. 作業療法と目標設定 ◆齋藤佑樹
 3. イラストでわかる 生活動作と読み書き支援 ◆鴨下賢一
 4. 作業のもつ力を活かす作業療法 ◆小林幸治
-